



朽木東小学校 学校だより 第16号
なかよく たっしやで きばる子

令和4年12月1日(木) 文責:校長 大久保



師走です

気が付けばもう12月、早いものです。きれいに色づいていた木々ももうたくさんの葉が落ち、冬の到来を感じるこの頃です。2学期も残すところあと3週間ほどになりました。この2学期も、シルバー人材センターのみなさんが鬱蒼としていた校庭の階段付近の木々をきれいに剪定し、たくさんの枝を運んでくださったり、日赤奉仕団朽木支部、更生保護女性会日赤奉仕団、老人会のみなさんが除草、清掃をしてくださったり等、子どもたちが安全に気持ちよく学校生活を送れるようにたくさんの方にご支援をいただきました。また、読み聞かせ、体験学習等の学習支援でもたくさんの方にお世話になりました。ありがとうございました。



様々な場面で、子どもたちの大きな成長を感じた2学期でしたが、残り3週間、2学期の学習のまとめをしっかりと、みんなが気持ちよく冬休みを迎えられるようにしたいと思います。今月もどうぞよろしく願いいたします。

2022年度 全国学力・学習状況調査 本校の結果について

4月19日に実施されました「全国学力・学習状況調査」の結果を分析、考察しました。この調査は、子どもたちの一人ひとりの学習状況の改善や学校における教育指導の充実、学習状況等の改善に役立てることを目的に、毎年6年生を対象に実施されるものです。今年度の調査内容は、国語、算数、理科の3教科、および児童の意識や生活習慣等についての「児童質問紙調査」でした。本校の6年生児童には、以下のような傾向と課題が見られましたので、その概要についてお知らせします。

【国語】

「話すこと・聞くこと・読むこと」の領域はよくできており、話し言葉と聞き言葉の違いを理解したり、登場人物の相互関係を描写を基に捉えたりすることの正答率は高かったです。一方で、文章全体の構成や書き表し方などに着目して文や文章を整えたり、文章のよさをいくつかの条件に合わせて制限された字数で書いたりする「書くこと」の領域に課題が見られました。

【算数】

全体としては各領域ともよくできており、伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて未知の数量の求め方を説明するというような記述式の問題や、コンピューターで図形をかくためのプログラムをつくるという問題においても正答率が高かったです。一方で、概数を使って目的に合った数の処理の仕方を考察するという問題に課題が見られました。

【理科】

全体としてどの領域もバランスよくできており、また、選択・短答・記述のいずれの問題形式においても正答率が高かったです。一方で、水は水蒸気になって空気中に含まれているという知識を基に、鉄棒に付着している水滴は空気中の何が冷やされたものであるかを答える問題に課題が見られました。

【質問紙調査】

- ・「自分にはいところがありますか」「将来の夢や目標を持っていますか」「友達と協力するのは楽しいですか」「自然の中で遊ぶことや自然観察は好きですか」の質問に対して、肯定的な回答割合が特に高かったです。また、ICT機器をどの程度使用していますか」の質問には、「ほぼ毎日」「週3回以上」の回答が多かったです。
- ・昨年度の課題の一つであった「学校の授業時間以外に、1日当たりどれくらいの時間、読書しますか」の質問には、「30分より多い」と回答した割合が昨年度よりも高くなりました。

<学力向上に関する今後の改善方策>

- 学習の「まとめ」や「振り返り」の充実を図る。視点を明確にして、自分の言葉で表現するようにし、ワークシートへの記入を積み重ねたり、話し合いを通して自分の知識・考えを再構築したりする時間を大切にする。
- 国語では、説明文の資料（グラフや図表など）で読み取ったことを、文章と関連付けてまとめる活動を増やす。（キーワードの使用・字数制限・時間制限のもとで）
- 算数では、問題解決に至るまでの筋道や「なぜそう考えたのか」を、文章や式、図表を使って説明する機会を増やす。
- 理科では、課題に対して仮説から解決までの思考を大切にしながら、科学的事象、用語、実験器具名等の基本的知識も定着させていく。
- 国語・算数に限らず他教科においても、複数の資料を読み取って比較、整理、考察して自分の考えをまとめる活動を取り入れる。
- ICT機器をさらに効果的に活用し、シンキングツール等を用いて個々の思考、交流・共有から学びを深めていける学習を充実させる。
- 「読書タイム」だけでなく、隙間時間の読書を奨励したり、図書サロンの本の貸し出しを積極的に活用したりする。